



萩原剛志 議員

竜巻・ひょうの被害の現状と対策

問 五月六日に茨城県、栃木県で竜巻や突風・ひょうなど、甚大な被害が発生し、桜川市内でも被害が発生した。

答 ①市内の被害状況については、②筑西市やつくば市では一部損壊まで見舞金を支給するようだが、桜川市はどうするのか。

東日本大震災で被害を受け、さらに今般の竜巻で被害に遭われた一部損壊の世帯に対しても、何らかの支援ができるように検討させていただきたいと考えています。

その他の質問

- ①学校給食会について
- ②岩瀬駅周辺整備事業について
- ③東北被災地のがれきの受け入れについて



竜巻による被害を受けた納屋



市村 香 議員

桜川筑西IC周辺都市整備構想について

問 大和駅を含めた長方周辺整備の具体化は、長方地区、開発公社運営に毎年七〇万円の補助で、維持管理も大変である。一つに複合施設やまちづくりの拠点としてインターチェンジ周辺整備にヒヤリング資料が出され、注目すべきだと思う。

大和駅を含めた長方周辺整備の具体化は、長方地区、開発公社運営に毎年七〇万円の補助で、維持管理も大変である。一つに複合施設やまちづくりの拠点としてインターチェンジ周辺整備にヒヤリング資料が出され、注目すべきだと思う。中核病院の候補地とした事実もあり、県西病院立地も含め、インターチェンジ近くの病院は魅力があると聞くので、民間レベルの福祉施設、病院建設の誘致も必要ではないか。市長は、脳疾患と心疾患に特化した新中核病院、第三次医療建設を主張しているが、桜川市が深刻化する十数年後の少子化、高齢化に対応するには友部の県立中央病院、筑波大学、自治医科大学、近くに協和中央病院もある。そこにアクセスするインターチェンジ近くを、高速道路を活かした救命緊急の搬送体制を整えることを第一に図るべきではないか。その上で、桜川市民にとって診療が受けやすい、愛される二次病院建設の適地として長方地区はいかがか。

答 市長 筑西市では毎年一、〇〇〇人、桜川市も五〇〇人程度人口が減少している中で、市村議員が言われる問題点等についても、議会、あるいは市民の皆さんに報告し理解をいただきます。まず南北に一本道路をつくってインフラ整備だけをさせていただく。公立病院の再編については理解を得たい。

補助金の支給は適正か

問 補助金は適正に交付されているか、団体の指導と是正は。

答 総務部長 必要性と効果に付いて審議し適正な補助金交付に努めているところです。

答 教育長 行政としては、お願いする立場なので、職員の資質向上を図り、団体と協力して円滑な運営をしていきます。

その他の質問

- ①岩瀬駅跨線歩道橋及び駅舎整備事業（その後の経過）
- ②原発事故を受けイノシシ捕獲の対策は



川那子秀雄 議員

デマンドタクシーの運行範囲の拡大

問 デマンドタクシーの運行範囲は、市内のみとなっているが、交通弱者に応じて地域外に拡大できないか。

答 市長公室長 道路運送法第四十条の許可を得て、運行種別は同法第三条及び施行規則により、市内全域及び筑波山までを、許可を得て運行しています。特例的な区域設定をする場合には、審査基準があり、その地域の公共交通関係者による地域公共交通会議で、他の旅客自動車運送業者との不当競争を起すことの恐れがないことの協議が調っていることが前提となります。

エリア拡大は、公平性や効率的な運行サイクルの確保等、慎重に検討すべき課題があり、可能性も含めて関係機関とさらなる研究と協議を進めたい。

児童の安全対策について

問 児童の安全対策について、通学路の設定は全庁的に会議を持ち、安全マップを確立して

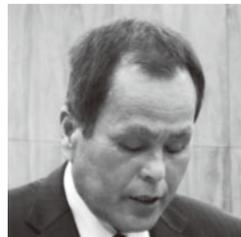


安全な登下校を… (イメージ写真)

らいたい。こうしている間にも事故があったらえらい問題になります。スピード感を持ってほしい。

答 教育長 現在、通学路や地域の危険箇所の見直しを実施しています。各学校の通学路や安全マップについて、的確に共通の様式で把握できるようにしたい。

答 市長 交通の安心・安全は桜川市の喫緊の課題であり、県道の中でも歩道の整備を強く要望しています。また、旧真壁・旧大和地区の中学生たちにもヘルメットの着用を義務づけるよう、教育委員会へも要望しています。



仁平 実 議員

災害対策について

問 五月六日、桜川市に竜巻が起こり、市内各地が被害を受け、停電や断水の地区もあった。この災害時に桜川市では対応が遅れた。当初はマスコミにも被害が取り上げられなかったが、当日、市の責任者である市長は何をしていたのか。

答 市長 ゴルフをしていました。十二時過ぎには中断を余儀なくされました。電話で報告を受けたように指示をしました。

問 私も同じゴルフ場にいたが、自宅から電話があり急いで戻り、被害現場に駆けつけた。しかし市長は当日、災害を知っても現場にも行かず、宴会場で打ち上げをしていた。ゴルフには、指名業者（偏りのある）も参加していたようだが、こういうことは不適切だと思わないのか。

答 市長 仲間同士が仲よくやるのは大いに結構だと思いません。災害対策は担当者がしっかりとやっているの、心のリフレッシュ

をしていました。

問 業者も仲間なのか。市民が被害で困っているという状況の中で、業者とゴルフや酒飲みをしているというのではどうか。

答 市長 どういう方がどういう仕事をしているかは知りませんが、ライフラインである水道設備には、緊急時の断水対策として自家発電装置や企業局の水をまわすなどの対策をするべきだと思うかどうか。

答 上下水道部長 配水池によって、今後最適な復旧方法を行っていききたい。

まとめ 市長の政治倫理と危機管理のなさに驚かされた。